

放射能関係のお知らせ

2017年4月1回(B週)

お届け日:2017/4/3~4/7
発行日:2017/3/20



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/3/16(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	甘夏	品目で検査済 柑橘類で検査済
	いちご	品目で検査済 たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・海上・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済
	清見オレンジ	品目で検査済 柑橘類で検査済
	ゴールドオレンジ	品目で検査済 柑橘類で検査済
	りんご	品目で検査済
	きゅうり	品目で検査済 みちのく野菜・八千代・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・サンド旭・和郷 果菜類で検査済 谷田部・沃土・佐原 検査予定 たまつくり
果菜	スナップえんどう	品目で検査済
	トマト	品目で検査済 谷田部・葉菜野菜・うつのみや・野菜くらぶ・沃土 果菜類で検査済 元気会・村悟空・佐原・いちかわ
	ミニトマト	品目で検査済 あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷 果菜類で検査済 八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空
葉菜	アスパラ	品目で検査済 葉菜類で検査済
	大葉	葉菜類で検査済
	かき菜	葉菜類で検査済
	キャベツ	品目で検査済
		葉菜類で検査済
		検査予定
	小松菜	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	サニーレタス	葉菜類で検査済
	チンゲン菜	品目で検査済 葉菜類で検査済
にら	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
ねぎ	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
葉ねぎ	品目で検査済 葉菜類で検査済	
白菜	葉菜類で検査済	
ペピーリーフ	品目で検査済	
ほうれん草	品目で検査済	
	葉菜類で検査済	
	葉菜類で検査済	

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	ルッコラ	葉菜類で検査済 葉菜野菜・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	若芽ひじき	品目で検査済
かぶ	品目で検査済	
	根菜類で検査済	
根菜	大根	品目で検査済
		根菜類で検査済
	長芋	根菜類で検査済
	にんにく	品目で検査済

●2016年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ
宮城県: JAみどりの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア21の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県: JA北蒲みなみの新潟こしひかり・JAささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA魚沼みなみの魚沼こしひかり・JAえちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19検体中17検体不検出 2検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ささおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査について

* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
* 検査対象地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済
エリンギ	品目で検査済
生きくらげ	品目で検査済
とらまき茸	品目で検査済
なめこ	品目で検査済
ささかみのまいたけ	品目で検査済
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/3/8	10
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

* 3/15の検査では、「生しいたけ(原木栽培)」からの検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
谷田部の若手生産者きのこセットのしめじ			
ぶなしめじ			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

* 2017/2/22の検査では、「しめじ(ひらたけ)」および「ぶなしめじ」からの放射能の検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアード栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

* 白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
333	豚のチンジャオロースセットのしいたけ	2017/3/1	5.5
293	きなりセレクト		
341053	豚肉のピリ辛味噌マヨ炒めセットのしいたけ		
335	豚肉のピリ辛味噌マヨ炒めセットのしいたけ	2017/3/8	10
11287	豚平焼きセットのしいたけ		
334	担々マーボー豆腐セットのしいたけ		
295	香ばしあんかけ焼きそばセットのしいたけ	2017/2/6	3.5
11295	厚あげと野菜の甘酢あんからめセットのしいたけ水煮		
339	白身魚のきのこあんかけセットのまいたけ水煮	2017/2/27	3.2
300	11279		
301	白身魚のきのこあんかけセットのまいたけ水煮	パルシステムの独自ガイドライン	
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185540	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
240粒:186350			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

平成 24 年度農業分野における 放射性物質試験研究成果説明会(第 2 回)より

2011 年 3 月 11 日から 6 年が過ぎ、原発の事故より大量に拡散した放射能に比べて、少なくなったとは言われていますが、現在でも、原発からは毎時間 0.1 億ベクレル未満での放射能拡散がされていると東京電力からは公表されています。

<http://www.tepco.co.jp/life/custom/faq/images/d150129-j.pdf>

このような中、20msv/年以下の場所の帰還政策が進められています。

いまだに微量に放射能が大気中に漏れ出ているにもかかわらず、さまざまな事情により戻りたくない人には苦渋の選択を迫られています。

- 「切り干し大根の放射性物質による二次汚染とその原因」
http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/kenkyuseika/h24_radio_logic/121029_siryuu.pdf

2012 年 10 月 29 日に福島県農業総合センターで行われました研究成果についてお知らせします。

食物の放射能検査は、水分が含まれている方が放射能は低くなり、水分が少ない方は放射能が高くなる傾向にあります。その他、環境中に放射能が高い状況がある場合(除染がされていないなど)、乾燥させている際に放射能が付着してしまい高くなる場合があります。

2012 年に発表された研究報告では、切り干し大根の干場の場所によって切り干し大根の放射能濃度が異なることがわかりました。松の樹幹そば(根元)、乾燥小屋(屋根のある屋外)、鉄筋ビルの軒下の壁際と設置し、地表面からの距離は、それぞれ、地表と地表から 1m の 2 種類とします。

干し場の空間線量と切り干し大根の放射性セシウム			
	干場の高さ	地表1mの空間線量(μSv/h)	切り干し大根の放射能濃度(Bq/kg)
乾燥機による乾燥	-	-	不検出
松の木の樹幹	地表	1.8	220
乾燥小屋	地表	0.5	892
鉄筋ビルの軒下の壁際	地表	0.6	3421
乾燥小屋	地表1m	0.5	165
乾燥小屋	地表1m	0.5	90

乾燥機で乾燥しただけの切り干し大根原料からは、不検出でしたが、屋外で乾したことで放射能が付着し、検出していました。また、干す場所の高さでも放射能の検出数値に変化がありました。

- <結論>
「切り干し大根を干す場所により検出される放射性セシウム濃度は異なり、また空間線量との相関はなく、放射性セシウム濃度が高いものほど塵の付着が多いことがわかりました。」としていて、チリが舞いやすいところでは、放射能が付着しやすいとのこと。

- まとめ
除染状況にもよるのかと思いますが、現在でも、2017 年 1 月に千葉県野田市の小学校の屋上で 8,000Bq/kg を超える汚泥が確認されており、思わぬところで除染がされずに取り残されたものもあるかもしれません。

2017 年 2 月 28 日に原子力規制委員会から公表された定期降下物では、東京都新宿区でもごく微量ですが、セシウム合計 1.87MBq/Km² 月の降下が認められています。

http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/12000/11878/24/195_1_20170228.pdf

厚生労働省発表の「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1021)でも、福島県緊急調査の報告から、干し柿からの検出があり、ももとの柿からの検出であったのか、干す場所によっての影響であったのかはわかりません。

露地で、さらに地表近くで作られた乾した食品とわかっている場合については、注意が必要かもしれません。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1022)」(2016/7/10~2017/2/24 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体です。

イノシシ肉: 栃木県那珂川町 150Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

原木シイタケ: 岩手県一関市・岩手県花巻市ほか 1.9~50Bq/kg
スズキ(海の魚): 千葉県銚子市・茨城県ひたちなか市沖 0.51~24Bq/kg
イノシシ肉: 栃木県那珂川町・茂木町ほか 7~72Bq/kg

- 福島県の緊急調査では、今回の報告で 20Bq/kg 以上検出された検体はありませんでしたので、掲載を割愛しております。

パルシステムでは、「避難の協同センター」を支援しています。
<http://hinan-kyodo.org/>

3月の放射能検査状況

3 月 10 日までの 3 月の検査で、しいたけから、生しいたけ(原木栽培)が 1 件(10Bq/kg)、お料理セットのしいたけが 1 件(5.5Bq/kg)の検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	3 月	3 月の検出内容		3 月
青果	2 (0)		卵	0 (0)
しいたけ	3 (2)	原木しいたけ 10Bq/kg お料理セットのしいたけ 5.5Bq/kg	魚介類	9 (0)
その他のきのこ類	2 (0)		飲料水・飲料	4 (0)
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品	2 (0)
牛乳・乳製品	2 (0)		その他加工食品	107 (0)
肉類	4 (0)		合計	135 (2)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月~2017年3月)

青果	2016 年 5 月に小田原のパレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2017 年 2 月に常総センターのれんこんで 3 件中 1 件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0~3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 67 検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 * 放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014 年産および 2015 年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016 年 11 月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準	
2014 年 10 月より現行基準	現	旧		
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100	
しいたけ	100	100		

* 乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134,137 それぞれ)			
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更		新	旧
乳幼児用食品		1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品		3	

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以北の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物